

家庭学習のすすめ方

令和2年度

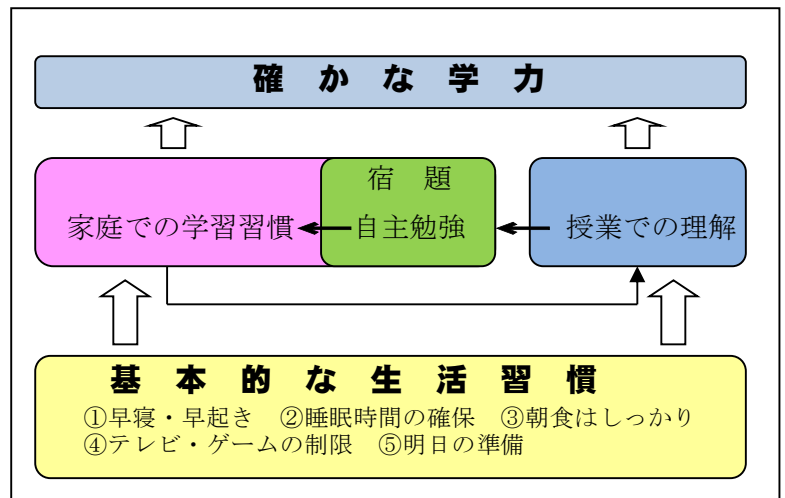
1. 家庭学習の必要性

① 基礎学力の定着

繰り返すことで深い理解につながり
確実に身に付きます

② 学習習慣づくり

自ら学ぶ姿勢の基礎を培い、中学校
での学習につながっていきます。



2. 学習時間のめやす

低学年

20分程度

中学年

30～40分程度

高学年

50～60分程度

※小学校では、(学年)×10分、中学校では、(学年)+1時間といわれることもありますが、これはあくまでも目安です。お子さんの力に合わせて決めていただければと思います。

3. 保護者の家庭学習への関わり方

基本的な生活習慣 生活のリズムづくり

「早ね 早おき 朝ごはん」

基本的な生活習慣作りが学習
習慣作りの第一歩です！

基本的な生活習慣は家庭学習
に取り組むために大切な要素
です。

学習環境の整備

「心を落ち着けて」

学習する場合は整理整頓し、テ
レビを見ながら、ものを食べ
ながらなどの「ながら勉強」
はやめさせます。落ち着いた
雰囲気ですべて学習に取り組める
ようにするとよいでしょう。

学習に関心を持ち やったことを認める

「あなたを見てますよ」

子どもがどんな勉強をしている
のか、どんな宿題が出ているの
か知っておくことは大切です。
教科書を音読している時は耳を
傾け、宿題や自主学習帳に目を
通し、がんばりを認めてあげま
しょう。

4. 家庭学習の習慣化づくりのポイント

- ・家庭学習を始める時刻、やる時間を子どもと話し合って決めておく。
- ・毎日、決まった場所で学習するように声をかける。
- ・机や部屋の整理整頓をして、テレビや音楽などを切り、静かな中で集中できる環境をつくる。

5. 家庭での学習内容

1・2年生

①宿題

- ・ひらがなやカタカナプリント（1年生）・漢字の練習
- ・音読（教科書の文を声に出して読む）
- ・計算練習（ドリル・プリント） 等

②読書（好きな本や絵本）

*自分で読むだけでなく、時には、絵本などの読み聞かせをしてもらえるとありがたいです。

③明日の持ち物の準備

- ・鉛筆をけずるなど筆記用具の準備をする。
- ・明日の授業の教科書、ノートなどの準備をする。

*準備は、子どもにさせて、お家の方は最後に確認をしてもらえると助かります。

◎余裕があるようなら、宿題以外で、ひらがなや漢字などの練習、教科書の分の書き取りや音読、計算練習、日記などにも取り組めるとよいです。

3・4年生

①宿題

- ・漢字練習・音読・計算練習・プリントなど

②自主勉強…その日の授業内容の復習・練習問題など

- 国語：新しい漢字やわからない言葉の意味調べ、音読など
- 社会：授業の復習（教科書をもう一度読んだり、ノートにまとめ直したりする）
神流町・県内市町村調べ、都道府県名の暗記など
- 算数：ドリルや教科書の問題を繰り返しやる
- 理科：授業の復習（実験や観察のまとめ）など
- その他：ニュースについての感想を書く、日記を書くなど

*ドリルや教科書の問題をした時は丸付け、直しまですることが大切です。

③読書…好きな本や図書館で借りた本など

*読み終わったら読書貯金通帳に記録をするよう声掛けをしていただくとありがたいです。

④明日の持ち物の準備

- ・鉛筆をけずるなど筆記用具の準備をする。
- ・明日の授業の教科書、ノートなどの準備をする。

5・6年生

①宿題

- ・漢字練習・音読・計算練習・プリントなど

②自主勉強…その日の授業内容の復習、明日の授業の予習など

- 国語：新しい漢字やわからない言葉の意味調べ、音読など
- 社会：授業の復習（教科書をもう一度読んだり、ノートにまとめ直したりする）
世界の国名・県名・産業調べ、人物調べ、問題集など
- 算数：ドリルや教科書の問題を繰り返しやる
- 理科：授業の復習、実験や観察のまとめ、問題集など
- その他：ニュースについての感想を書く、日記を書くなど

*ドリルや教科書の問題をした時は丸付け、直しまですることが大切です。

③読書…好きな本や図書館で借りた本など

*読み終わったら読書貯金通帳に記録をするよう声掛けをしていただくとありがたいです。

④明日の持ち物の準備

- ・鉛筆をけずるなど筆記用具の準備をする。
- ・明日の授業の教科書、ノートなどの準備をする。

*算数コンテストを実施する前の週を、家庭学習強化期間（パワーアップ週間）とします。積極的に学習に取り組みましょう。詳細は授業参観の懇談会で担任より説明します。